

新年度スタート

令和7年度がスタートしました。子どもたちと共に学び続ける教職員であるように、みんなでがんばっていきましょう。教育研究所も教職員の皆様と共に野洲市の保育・教育のために尽力してまいります。この一年間、先生方・関係者の皆様にはお世話になりますが、どうぞ協力よろしくお願い致します。

今年度も、教育研究所では、確かな研究・実践に取り組み、その成果や有意義な情報を発信していきます。小中学校では、5年目スキルアップ研修でお世話になりますが、今年度は市内9校中、対象校が8校となっています。日程が許す限り、それ以外の学校でも校内研修や授業研究会などにも参加させていただき、少しでも先生方の研究の推進に寄与できればと考えています。

また、「まなび野洲検定」におきましては、小学校4～6年生の子どもたちへの動機づけの声掛けをよろしくお願いいたします。昨年度は、受験者128名、1級合格が4名で、向上心を持って取り組む子どもたちが増えたことをうれしく思っています。これは夏休みの過ごし方をいかに充実したものにするかということにも関わってきます。保護者の皆様や先生方の声掛けをお願いいたします。

『教師が教える？子どもに委ねる？』④

『教師が教える？子どもに委ねる？』の第4弾、「板書活用」です。

(教育雑誌『授業力&学級経営力』より)

板書活用

どこまで教える？

3つのステップを教え「常のこと」にする

ここでの「板書活用」とは、「児童が板書することを生かした学習活動」とします。主に3つのステップを基本として教えれば、すぐにでもできます。ただし、板書する内容は、○・×のように即答で終わってしまうものは不向きです。「各自の思い」「アイデア」「複数の解釈」といったものを比較する場面では大変有効です。

また、算数の計算問題といった限られた場面だけでなく、全教科・領域等で児童が板書することを活かした学習活動を導入することで、児童から進んで活用するようになります。

どこから委ねる？

共有の必要性がある場面から任せる

自分の思いや考えについて説明して議論を深める、課題を解決するために複数のアイデアを提案して選ぶ、こうした共有の必要性がある場面において、児童が板書をして可視化した上で対話的な学習活動を進めることは、「誰が」「何を考えているのか」捉えることを補助し、安定感を生みます。また、複数の考えが児童によって一度に短時間で板書されるので授業の効率化にもつながります。主には、児童が何かを「解く」「創る」「比べる」「参考にする」といった場面から児童に板書を委ねると効果的です。

基本の3つのステップ

教師が取り入れ、繰り返すことが肝

児童が板書することを活かした学習活動について、「児童が板書すること」を「参加型板書」とします。方法は下の3つのステップのみ。ごく簡単ですので明日からでも実行できます。

- ①複数の考えがある課題の提示
- ②自分の考えをノートに書く
- ③早く終わった子ども(指名した子ども)が板書する

①複数の考えがある課題の提示

児童が板書をして、それらを共有する際には、自分の考えを文章で書くものやアイデアをたくさん出すよ

うな「答え（考え）が複数ある課題」が適しています。その理由は2つです。

理由1：比較したり統合したりして深まりや広がり期待できる。

理由2：各自が思考する時間に差が生まれることを利用して参加型板書につながるができる。

「理由2」の時間差が生まれることを利用して、教師が、「書けた人から黒板に書きましょう」と促すことで、机間巡視をしながら板書も進行。さらには複数の意見が一度に示されることは、日々の授業で微差が大差につながっていく要因の一つです。

②自分の考えを書く

自分の考えを書かせる際、私は、次のようなことを児童に繰り返し伝え、できたらほめることにしています。理由の書き方として、「なぜならば」で始まる文を心がけること。理由は多いほど説得力が増すこと。そして、「自分よりも小さい子どもに教えるつもりで書きなさい」と教えることで詳しい説明になります。また、時には、箇条書きで書くと分かりやすくなることを実際に見せて紹介します。

③早く終わった子ども（指名した子ども）が板書する

参加型板書が始まると教室は次のような様子になります。

(1)前に出て板書をする児童 (2)引き続き自力で取り組む児童

(3)友達の板書を参考にする児童 (4)板書された中から選ぶ児童

どの子どもの時間も空白ができず、教室がざわつくことはありません。

共通の必要性がある板書で深める

文字・図表で柔軟な板書を歓迎

「参加型板書」を各教科等で繰り返し取り入れることで、児童が自ら板書することを「常のこと」として取り組み、深め合うようになっていきます。

黒板を区切るなどしておくとも児童も書きやすいようです。文字だけでなく、自分のアイデアを図とともに示すことで互いの考えなどが相手に伝わりやすくなります。こうしたことは、ぜひ歓迎したいところです。また、板書するだけでなく、自分で書いた板書をもとに発表し合ったり、時には相手の板書に書き加えたりもするようになります。これらは、基本の3つのステップから始まり、少しずつ発展していきます。このように、黒板も児童が、「思考・判断・表現をする場」と捉えて積極的に活用することをお勧めします。

「令和6年度 研究奨励事業の表彰

研究論文で奨励証を取られた先生方の表彰を3月25日に行いました。

校園に配付しました『所報2024』に研究論文が載っていますのでご覧ください。

【個人研究の部】

〈最優秀賞〉 佐藤 裕子 先生 （篠原こども園）

研究主題 子どもの遊ぶ力と生活力の関係性
～スプーンを使って自分で食事ができるように～

〈優秀賞〉 中村 優芽 先生 （北野小学校）

研究主題 どの子ども「やってみよう」と学習に向かえる授業づくり
～子どもの目的意識を大切にした算数科の学習を通して～

〈奨励賞〉 蘆田 陽菜 先生 （中主小学校）

研究主題 児童が学びを実感できる算数科における話し合い活動のあり方
一児童が進んで言葉による見方・考え方を働かせ、伝え合う授業を通して一

【グループ研究の部】 なし



今年度、研究奨励事業への多くの皆様の応募をお待ちしています。

教育研究所 令和 7 年度年度研修計画予定

○読書活動推進講座

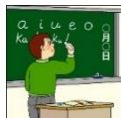
4月15日(火)午後 野洲図書館

- 野洲図書館の館長さん、研修担当の方から図書館が園や学校にできること、その活用術などを話していただきます。各校園 1 名の参加をお願いします。
図書ボランティアさんにもお声掛けください。



○5年目スキルアップ研修

オリエンテーション 5月20日(火)午後 人権センター



- 対象教職員の指導力(授業力)の向上をめざし、各学校でミドルリーダーとして活躍できるよう野洲市の教育を担える人材を育成する研修の一年間の活動内容や日程等を理解していただきます。

振り返り R8年1月20日(火)午後 人権センター

○研究論文の書き方講座

5月30日(金)午後 歴史民俗博物館(銅鐸博物館)

- 研究奨励事業の研究論文向けの講座です。5年目スキルアップ研修対象者は、参加対象です。今年度も県総合教育センターにご指導いただきます。

◎夏季研修(選択) 7月22日(火)~8月29日(金) 各所



- NITS(独立行政法人教職員支援機構)と県総合教育センター、下記の教育研究所の講座等から例年同様3つ以上選択して受講してください。市の講座が増えました。

・「保幼小連携の実践から学ぶ」 **7月24日(木) 希望者対象**

- 小学校の保幼小連携担当者からのお話です。

・教育法規演習講座 **7月28日(月)午前 人権センター 希望者対象**

- 普段なかなか携わることがない教育関係の法規等の演習問題を解く講座です。

・教育研究所研究員研究発表会 **7月29日(火)午前 人権センター 希望者対象**

- 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想の在り方について」
～思考ツールや板書の活用を重点とした生活科・総合的な学習の時間の授業づくり～

・小学校体育実技講習会 **7月31日(木)午前 野洲総合体育館**

- **勤務年数 6 年未満(悉皆)と希望者対象**の研修です。
小学校体育科部会の先生方に講習会の内容を伝達していただきます。



・特別支援教育研修会 **8月 希望者対象**

- 特別支援学級の先生方以外の先生方にも参加いただきたい研修です。

・「主体的に学習に取り組む態度」の研修会 **8月 希望者対象**

- 学習評価の観点の評価「主体的に取り組む態度」の評価とは？

・部落差別問題学習講座 **8月 希望者対象**

- 「部落問題を学ぶ」から「部落問題で学ぶ」へ

・裁判傍聴見学ツアー **8月 希望者対象**

・子どもの心のケアセミナー **8月 希望者対象**

・ICT 活用研修 **8月 希望者対象**

現時点での予定ですので、
変更になる場合があります。
ご了承ください。
詳細は、後日各案内で。



*まなび野洲検定

9月上旬 各小学校

- 4~6年生の希望者対象です。1学期に申込用紙・テキストを配ります。



令和7年度 就学前教育研修計画



NO	期日 時間	研修講座名	内 容	講師・担当者	対 象
1	4月15日(火) PM	読書活動推進講座	図書館の活用術について	野洲図書館	各園担当者
県	5月1日(木)	中堅資質向上研修①	開講式 オリエンテーション	保育アドバイザー	中堅受講者
2	5月12日(月)	園長研修	園運営のリーダーシップとビジョンの明確化	教育部次長 小寺 岳正さん	園長・副園長・所長
県	5月13日(火)	新規採用研修オンデマンド研修①	オリエンテーション ①研修	保育アドバイザー	新規採用職員
3	5月20日(火) 5月29日(木)	2年次保育見学研修	他園保育参観を通して学ぶ	保育アドバイザー	2年次受講者
4	5月26日(月)	副主任研修	子どもの強みを生かす保育の在り方と人材育成	保育アドバイザー	副主任
5	5月30日(金)	レポート研修 (教育研究所主催)	研究論文の作成について	滋賀県総合教育センター 講師	中堅受講者 5年研予定者
6	6月9日(月)	主任研修	主体的な園運営に向けて	保育アドバイザー	主任
7	6月23日(月)	保育実技研修①	領域「表現」・「言葉」	調整中	学級担任等
8	7月1日(月)	人権保育研修①	県人権保育研究大会から学ぶ	市内園長代表	学級担任等
9	7月14日(月)	虐待対応研修	現状理解と園での対応	家児相相談員	各園職員
10	7月22日(火)	2年次1学期まとめ研修	1学期の保育を振り返って	保育アドバイザー	2年次受講者
11	7月24日(木)	就学前教育講座①	幼保小連携の実践から学ぶ	彦根市立城東小学校 (保幼小連携担当者)	各小学校教員 各園職員
12	7月31日(木)	保育実技研修②	実技研修②(体力向上)	市内主任代表	学級担任等
市	8月4日(月)	市管理職研修	現状課題に基づく研修	学務課	園長・副園長・ 所長(管理職)
県 総	8月5日(火)	NO127 特別支援課題 別研修4基礎編	(県)発達が気になる子どもと保護者の理解 オンデマンド	びわこ学院大学 教授 小西喜朗さん	各園職員 (申込必要)
13	8月25日(月)	就学前教育講座②	《これから》を生き抜く力を育む 保育について	滋賀大学教育学部 助教 山本一成さん	各園職員
14	9月2日(火)	人権保育研修②	市人権保育の原点から学ぶ	馬場 洋子さん	各園職員
15	11月27日(木)	保育実技研修③	実技研修③(劇遊び)	保育アドバイザー	学級担任等
16	12月4日(木)	中堅資質向上研修①	研究中間見直しについて	保育アドバイザー	中堅受講者
17	12月25日(木)	2年次2学期まとめ研修	2学期の保育を振り返って	保育アドバイザー	2年次受講者
県	1月27日(火)	中堅資質向上研修⑤	(県)オンデマンド研修 閉講式	保育アドバイザー	中堅受講者
18	2月26日(木)	2年次3学期まとめ研修	3学期振り返りとまとめ研修	保育アドバイザー	2年次受講者
19	3月3日(火)	中堅資質向上研修②	研究報告会	保育アドバイザー	中堅受講者 学級担任等

その他	年間8回訪問 研究奨励事業 年間2回程度 年間相談 随時	2年次研修 5年次研修 園内研究 中堅資質向上研修 園内研修	訪問指導（4名） 自主研究 研究推進相談 研究保育1回、相談1回 希望により	保育アドバイザー	2年次受講者 5年次応募者 主任・主査 中堅受講者 研究主任
	年間3回程度	特別支援教育研修 コーディネーター研修	特別支援加配および担任特別 支援コーディネーター	就学前特別支援教育 推進委員会 学務課	各園職員

【令和7年度 就学前キャリアステージ研修】

1. 就学前研修の趣旨

- ・就学前教育キャリアステージにおける教職員育成指標に基づき、研修を計画的に実施し、市内公立私立園の幼児教育・保育の更なる資質の向上を図る。
- ・勤務2年次の教職員を対象に保育力向上のための訪問指導を実施すると共に、園運営の支援等、経験を生かしたアドバイス等を行う。
- ・勤務5年次の教職員を対象とした自己研鑽の成果をまとめ「教育奨励事業」への応募を推奨する。
- ・園内研究等の進め方や中堅教員研修受講者、5年次研等の相談・助言を行う。
- ・教育研究所や幼稚園教育研究会・保育研究会などと連携・協力した研修を推進する。



2. 保育アドバイザーの主な仕事内容

- (1) 市内幼稚園・認定こども園・保育園の訪問指導の実施
 - ・市立幼稚園・認定こども園・保育園の2年次職員受講対象
(1年次経験者および園希望者含む)
 - ・園内研究の推進に伴う相談・助言
 - ・5年次研・中堅教員研修に伴う相談
 - ・各園の巡回保育相談
- (2) 就学前教育・保育講座
 - ・キャリア研修
(管理職研修、主任・副主任研修、2年次スキルアップ研修、訪問指導対象者・5年次レポート研修)
 - ・経験者研修（人権研修・虐待対応研修・中堅教員研修）
 - ・実技研修および市幼研との共催研修
 - ・全体研修（就学前講座）
- (3) オンライン研修
 - ・对外研修 保健関係・防災、安全指導関係等
 - ・県教育委員会 必須研修等
 - ・滋賀県総合教育センター事業による研修等



『かってもまけてもいいんだよ』

オーレリー・シアン・ショウ・シーヌ 文・絵 垣内 磯子 訳

出版社 主婦の友社

フランスの乳幼児セラピストが手がけた小さい子どもと一緒にソーシャルスキルを学べる絵本です。

主人公はユニコーンの子ども・ガストン。家でゲームをしているとき思い通りにいかなくてグズグズ言い始めるガストン。そんな彼にママは優しく語りかけます。自分の気持ちや他人との付き合い方を子どもと一緒に学べるのが魅力！4歳ごろからの読み聞かせにぴったりです。

続編の『しっばいしたって いいんだよ』も人気です。